



2023年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年5月12日

上場会社名 株式会社ビーブレイクシステムズ
コード番号 3986 URL <https://www.bbreak.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
四半期報告書提出予定日 2023年5月12日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-5487-7855

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年6月期第3四半期の業績(2022年7月1日～2023年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	1,033	7.6	157	8.5	157	8.4	118	8.9
2022年6月期第3四半期	960	11.2	144	70.0	144	69.9	108	69.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	76.82	
2022年6月期第3四半期	70.34	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	2,040	1,509	74.0
2022年6月期	1,882	1,433	76.1

(参考)自己資本 2023年6月期第3四半期 1,509百万円 2022年6月期 1,433百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期		0.00		12.00	12.00
2023年6月期		0.00			
2023年6月期(予想)				12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,343	6.3	170	10.7	170	10.6	128	9.6	83.29

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.5「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.5「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期3Q	1,536,960 株	2022年6月期	1,536,960 株
期末自己株式数	2023年6月期3Q	15,260 株	2022年6月期	196 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期3Q	1,532,377 株	2022年6月期3Q	1,536,764 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(会計方針の変更)	5
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に関する各種行動制限の緩和により経済活動に持ち直しの動きが見られましたが、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や、それに起因する資源価格高騰、世界的な金融引締めによる円安進行と国内の物価上昇など、先行きが極めて不透明な状況で推移しました。

当社が属する市場および顧客においては、足下の企業のシステム投資ニーズは安定しており、エンジニアの需要も高水準を維持しているものの、今後の状況については予断を許さないものと考えております。

こうした環境の中、当社は、“ITで経営の今を変える、未来を変える”のコンセプトメッセージを掲げ、クラウドERP「MA-EYES」を中心としたパッケージ事業や、システムインテグレーション事業の強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高10億33百万円（前年同四半期比7.6%増）、営業利益1億57百万円（同8.5%増）、経常利益1億57百万円（同8.4%増）、四半期純利益1億18百万円（同8.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①パッケージ事業

主力商品であるクラウドERP「MA-EYES」について、前期に受注した案件の稼働に伴い保守料が増加しましたが、既存ユーザーからの追加開発に関する受注が減少したことから、売上高は6億円（前年同四半期比2.1%減）、セグメント利益は2億90百万円（同4.0%増）となりました。

②システムインテグレーション事業

パッケージ事業の減収に伴い、一部エンジニアをパッケージ事業から本事業にシフトさせたことから、売上高は4億33百万円（前年同四半期比24.8%増）、セグメント利益は99百万円（同26.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は20億40百万円となり、前事業年度末に比べ1億58百万円増加いたしました。これは主に、売上規模の堅調な推移に伴う現金及び預金の増加によるものであります。

当第3四半期会計期間末の負債合計は5億31百万円となり、前事業年度末に比べ82百万円増加いたしました。これは主に、賞与引当金や、パッケージ事業の新規受注および保守やSaaS版利用料に係る前受金（契約負債）の増加によるものであります。

当第3四半期会計期間末の純資産合計は15億9百万円となり、前事業年度末に比べ76百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2022年8月12日の「2022年6月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,656,327	1,809,749
売掛金及び契約資産	142,473	151,971
仕掛品	1,008	—
前払費用	9,982	8,036
未収収益	1	—
その他	288	98
流動資産合計	1,810,080	1,969,854
固定資産		
有形固定資産	83	62
投資その他の資産		
長期前払費用	5,676	3,548
敷金	24,121	24,121
繰延税金資産	42,230	42,230
投資その他の資産合計	72,027	69,899
固定資産合計	72,110	69,960
資産合計	1,882,189	2,039,814
負債の部		
流動負債		
買掛金	22,160	28,212
契約負債	200,757	236,452
未払金	8,362	5,876
未払費用	18,277	7,658
未払消費税等	21,045	23,531
未払法人税等	32,053	19,685
未払事業所税	1,670	1,323
預り金	19,716	5,482
賞与引当金	—	56,092
受注損失引当金	42	—
アフターコスト引当金	—	1,110
未払配当金	148	108
流動負債合計	324,231	385,529
固定負債		
退職給付引当金	124,726	145,462
固定負債合計	124,726	145,462
負債合計	448,957	530,991
純資産の部		
株主資本		
資本金	232,632	232,632
資本剰余金	286,063	286,063
利益剰余金	914,979	1,014,256
自己株式	△441	△24,128
株主資本合計	1,433,232	1,508,823
純資産合計	1,433,232	1,508,823
負債純資産合計	1,882,189	2,039,814

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
売上高	959,845	1,033,028
売上原価	509,427	556,725
売上総利益	450,418	476,302
販売費及び一般管理費	306,079	319,701
営業利益	144,340	156,601
営業外収益		
受取利息	14	16
雑収入	76	41
営業外収益合計	91	57
営業外費用		
支払利息	—	29
雑損失	—	119
営業外費用合計	—	149
経常利益	144,430	156,509
税引前四半期純利益	144,430	156,509
法人税等	36,338	38,791
四半期純利益	108,092	117,719

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ事業	システムインテ グレーション事 業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	612,780	347,065	959,845	—	959,845
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	612,780	347,065	959,845	—	959,845
セグメント利益	279,223	78,044	357,267	△212,927	144,340

(注) 1. セグメント利益の調整額△212,927千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	パッケージ事業	システムインテ グレーション事 業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	599,863	433,164	1,033,028	—	1,033,028
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	599,863	433,164	1,033,028	—	1,033,028
セグメント利益	290,290	98,560	388,850	△232,249	156,601

(注) 1. セグメント利益の調整額△232,249千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。